

# Mokutai kyo

# 木耐協

# Report

## マンスリーレポート

2026.1  
vol.  
325



1. 復興への祈りが込められた花火 2. ドローン500機を用いた光のショー 3. 幻想的な演出で音楽ライブも開催 4. イベントポスター

### 特集

## 全国組合員交流会2025

### 誌上レポート

**今号の表紙** 能登の美しい星空をテーマに、2025年10月25日、復興支援イベント「光りのと」が石川県鳳珠郡能登町の柳田植物公園で開催されました。子どもから大人まで楽しめるワークショップやスペシャルゲストによる音楽ライブ・トークショー、夜にはドローンショーや花火など、光と音の演出で来場者を魅了し、被災地に希望の光を灯しました。



写真：合同会社「能登みらい創造ネットワーク」/光りのと実行委員会/ENJI  
URL：「光りのと」特設ページ  
<https://5-skit.com/hikarimoto/>



〔特集〕多様なテーマで深まった学びとつながり

# 全国組合員 交流会 2025

## 誌上レポート

文：伊藤健三

全国各地に  
のべ120人の組合員様に  
ご参加いただきました！

▼2025年は、4月の静岡を皮切りに、宮城・愛知・香川・新潟・広島・福岡・大阪と、11月まで全国8会場で開催しました。外部講師の方もお招きし、DX・耐震・人材・相続といった皆様が直面する実務課題に合わせ、各地で異なるプログラムを用意。現場改善の成功事例、法改正への対応、補助金の使い方、人材育成の悩みなど、参加者同士が具体的な事例を持ち寄り、議論する交流会となりました。本特集では、その様子をレポートします。

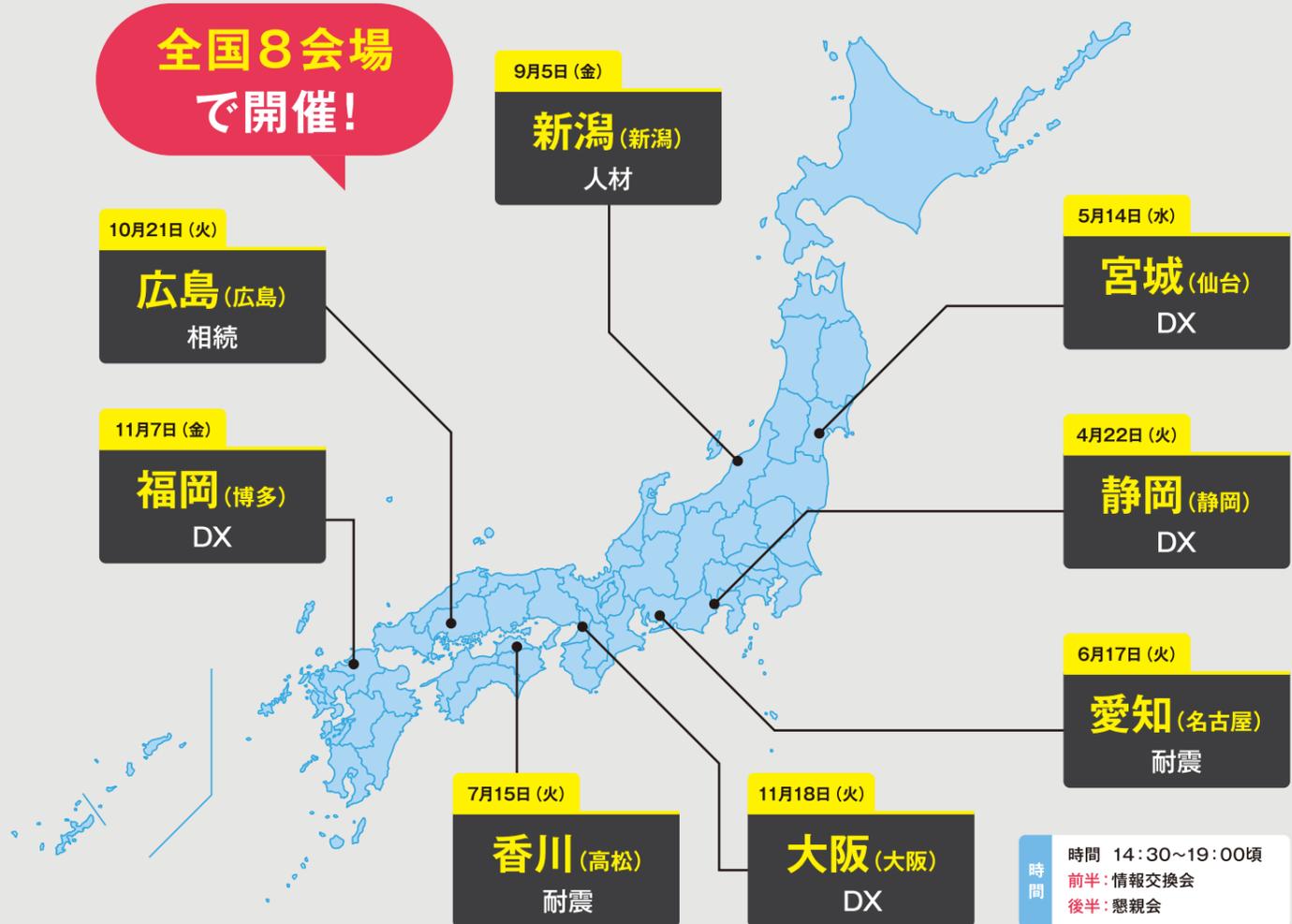


小野理事長はAIの活用がこれからは不可欠と講演いたしました



関事務局長からは診断法改定や住生活基本法の見直しといった最新情報をお伝えしました

全国8会場  
で開催！



### 耐震

愛知 香川



技術向上委員会の村田委員長(写真上)、市原委員長(写真下)に技術的な見解を解説していただきました



香川



耐震の活動が活発な愛知・香川では、日々耐震に取り組む組合員様にお集まりいただきました。全国で拡充が進む耐震補助制度の動向や、年々拡がりをみせている「精密診断+低コスト工法」の対応など、実務に直結する論点について、組合員同士がそれぞれの経験をもち寄り、議論。補助金対応の苦労や地域ごとの課題を率直に共有し合っ、有意義な時間となりました。

### DX

静岡 宮城 福岡 大阪

「デジタル化の『実践』で業務を変える」

中堀社長が自社で実際に進めてきたデジタル化の経緯や、移行の過程で直面した課題、現場で起きた変化を、実務に即した実例とともに解説いただきました。どの会場でも高い関心を集め、デジタル化の背景や生産性向上の効果は参加者に強い刺激となりました。「人手不足が進む中で、生産性向上の重要性を改めて実感した」との声も寄せられました。



株式会社e.com  
代表取締役  
中堀健一様

福岡

### 相続

広島

「相続相談から始まる」  
新たな受注戦略

相続相談や家族信託を入りに、リフォーム・建替えなどの受注につながる実践的なアプローチが紹介され、参加者からは「これまでにない視点だった」「相続の出口戦略においても工務店が大きな役割を果たせる」といった感想が寄せられました。組合員にとっての「新しい顧客との接点づくり」を考える貴重な機会となりました。



株式会社  
デザインライフ  
代表取締役  
杉村洋介様

広島

### 人材

新潟

「業績拡大のカギはリーダーの育成」

マンスリーレポートの連載でもおなじみ石原社長を迎え、人材採用から育成、評価制度まで人にもつわる課題についてご講演いただきました。中小工務店でも無理なく実践できる育成の仕組みや、辞めない人材の見極め方など、参加者の関心が高い内容が続き、多くの組合員が学びと気づきを持ち帰る時間となりました。



業務支援株式会社  
代表取締役  
石原直之様

新潟

メーカー賛助会員・  
提携企業様にも  
ご参加いただきました

- 株式会社サボリス
- 住宅ソリューションズ株式会社
- 株式会社ダンドリワーク
- ツクリンク株式会社



香川県庁



静岡県庁

交流会に合わせて  
県庁などにも  
訪問し情報交換を  
行いました



懇親会ではお酒を  
交えて活気溢れる  
時間となりました



新潟

香川



福岡

来年も全国各地で開催予定です！

2026年の会場で皆様とお会いできることを楽しみにしております。

時間 14:30~19:00頃  
前半：情報交流会  
後半：懇親会

# 事務局長が行ってきました!

不定期連載  
No.21

これまであまりお伝えしていなかった木耐協事務局の活動裏話をお届けします

## ▶ 住宅リフォーム推進協議会住宅の長寿命化リフォームシンポジウムに参加しました

10月16日(木)に秋葉原のアキバホールで開催された「住宅の長寿命化リフォームシンポジウム」に、主催の(一社)住宅リフォーム推進協議会の広報委員会メンバーとして運営に参加しました。国土交通省による省エネ施策の発表や慶應義塾大学の伊香賀名誉教授による省エネリフォームと健康寿命に関する講演、さらに事業者の事例発表も行われ、会場とオンラインで多くの方が視聴されました。



▲リアル会場の様子  
▼登壇者とリ協の皆さん

## ▶ 「悪質な訪問販売撲滅!かながわ宣言」意見交換会に参加しました

昨年から木耐協も登録している神奈川県には、訪問販売協会や新聞・冠婚葬祭・屋根・リフォームなど様々な団体が在席しており、毎年意見交換会が行われます。11月12日(水)に横浜駅近くのかながわ県民センターで開催され、参加してまいりました。

「今年ニュースになっている屋根業者による飛び込み訪問営業は夏頃から減っている」など、各団体の活動状況や消費者からの相談事例などが共有されました。また、年度内には神奈川県内の事業者がお客向けに配布できる注意喚起シールができる予定です。

## ▶ 木耐協ゴルフコンペ 西日本2025を開催しました

5月に開催した東日本に続き、11月19日(水)に大阪府池田市の「PGM池田カントリークラブ」で西日本ゴルフコンペを開催しました。今回はちょっと少なめの7名でのゴルフとなりましたが、11月にしてはそこまで寒くない中で楽しくプレーできました。前日の交流会in大阪で「行きたかった」という声も頂いており、来年はまた時期を変えて開催したいと考えています。来年はぜひ多くの方にご参加いただきたいと思います。



▲スタート時の集合写真

## ▶ ジャパンホームショー&ビルディングショーに行ってきました

11月19日(水)～21日(金)の3日間、東京ビッグサイト西棟で開催された「ジャパンホームショー&ビルディングショー」に行ってきました。交流会の4会場で講演いただいた中堀健一氏が展開されている「ログビルド」や、広島交流会での講演やマンスリーレポートでの「相続」連載でおなじみの杉村洋介氏が展開される「デザインライフ」も出展されていました。また、新建新聞社のブースではセミナーを多数開催され、会場参加だけでなくオンライン視聴も可能となっていました。



▶ エントランス  
▶ ログビルドブース  
▶ デザインライフブース  
▶ 新建新聞社ブース



木耐協事務局長 関 励介

2002年から木耐協で組合運営・対外折衝・セミナー等を実施。埼玉県朝霞市にある出雲大社の分社には、約12年間毎月お参りに行っている。

今後も様々な動きをお知らせしますので、ご期待?ください!

## 木耐協 あ・れ・こ・れ 寄稿

# 数字でふり返る 能登半島地震

2024年元旦に起きた能登半島地震は、家屋倒壊だけでなく、津波・土砂崩れ・液状化・海岸隆起と多様な災害を引き起こしました。発生から2年が経過し、被害状況を数字でふり返り、“私たちが何をすべきか”を考えます。

能登の2年が示したのは “倒れない家が生き残る地域をつくる” という事実

能登では11万5千棟もの住宅が被害を受け、その後の暮らしまで奪われました。断水が長期化し、避難者は4万人超。寒さと医療の途絶が重なり、死者は672人に及んでいます。震災関連死は直接死の約2倍となる444人に達

し、まだ増える見通しです。復旧・復興費は7千億円超にのぼり、家屋倒壊が地域全体の負担となる現実も明らかです。これらの数字は、「建物の強さ」が人の生き死にやその後の生活を大きく変えることを物語っています。だからこそ私たち住宅事業者は、診断と補強を通じて、地域の暮らしを守る役割を担っているのです。本年も住宅の耐震化に取り組んで参りましょう。

住宅被害 16万5,376棟

- 全壊6,536棟
- 半壊23,693棟
- 一部破損135,122棟

直接死 228人

圧死・窒息死などが6割を占め、倒壊した家屋の下敷きになったとみられる

断水 最大11万戸

電力・ガスは比較的早期に復旧したが、水道は長期にわたり回復が遅れた

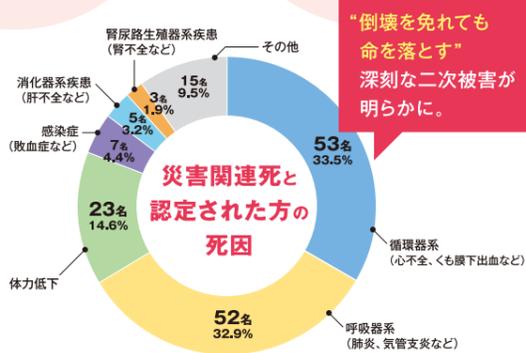
避難者 最大40,688人 (2024年1月2日時点)

震災関連死 444人

直接死の約2倍にもなり、80歳以上が8割を占める。まだ250人以上が審査待ち ※消防庁 令和7年10月15日

国・県の復旧復興費 7,000億円超

石川県の一般会計の約3割が“復興関連費”に



- ▶ 呼吸器・循環器疾患が約67%を占める
- ▶ 長期避難や寒さ・ストレス、医療体制の寸断が健康を悪化させる

## 能登半島地震での教訓

### 1 命を守るのは、建物の強さ

- ▶ 倒壊を防げば“直接死”は減らせる
- ▶ 在宅避難ができれば“関連死”も減らせる

### 2 住宅・インフラの崩壊が高齢者の生死に直結

- ▶ 平時の生活が途絶えることで、死亡するリスクにさらされる

### 3 被災すれば、地域財政も数千億円規模で疲弊する

- ▶ 復興のコスト > 耐震化のコスト (事前防災)

これからの  
工務店は  
営業しない!

# 相続相談から始まる 新たな受注戦略

## 第5回

### 「家を残したい」 想いに応える

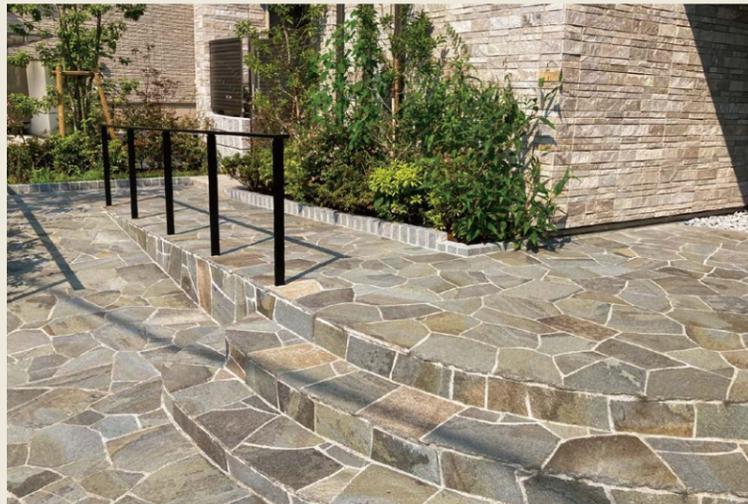
耐震・バリアフリー  
リフォーム提案の切り口

実家を手放すのではなく、「できれば家を残したい」と考える相続人やご家族は少なくありません。親が住んでいた家に自分たちが移り住む、あるいは孫世代の住まいとして活用する。思い出の詰まった家を売却せず、できる限り使い続けたいという声は、今も根強く存在します。

このような相談を受けたとき、建築業者として提案できるのが、「**リフォームや建替えといった「再利用」の視点**」です。たとえば、老朽化した建物であっても、耐震診断を実施し、必要に応じて補強工事を行うことで、安全性を確保したうえで再利用することが可能になります。高齢の親を迎え入れるために段差をなくす、手すりを設置するなど、バリアフリーリフォームを希望されるケースも多

くあります。こうした工事は、家族の安心と自立支援にもつながる重要な備えとなります。また、「売却はしたくないが、住む予定もない」というご家族に対しては、**賃貸として活用するという選択肢**も提案できます。その際にも、安全性や使い勝手を向上させる最低限の改修を行うことで、入居希望者の幅が広がり、空き家リスクを抑えることができます。

注意すべきは、相談者の多くが、相続後の手続きや建築基準などの知識を持っていないということです。「何ができるのか」「どのくらい費用がかかるのか」「法律的な問題はないか」といった不安を



一つひとつ丁寧に解消しながら、無理のない選択肢を整理してあげることが大切です。

建築業者が「残したい想い」を受け止め、**安心につながる提案**ができれば、信頼は確実に積み重なっていきます。

今回は、相続相談から新築や建替えにつながった実例をもとに、営業せずに受注が決まる仕組みについてご紹介します。



#### プロフィール

株式会社デザインライフ  
代表取締役 杉村洋介

岡山県出身。26歳で保険代理店「デザインライフ」を設立後、2015年より相続コンサルタント事業を開始。年間約500件の相続相談に対応し、遺言・信託・相続税・登記・保険・不動産など幅広くサポート。現在は全国の相続専門育成にも携わる。

Tel 0120-009-422  
E-mail dl-consultant@design-life.jp  
Webサイト https://design-life.jp  
住所 〒700-0975 岡山県岡山市北区今3-9-12

2026年  
1  
月号

耐震診断・補強の疑問・質問にお答えします!

## 鈴木顧問の技術通信



鈴木芳郎 千葉県生まれ。1級建築士。2024年に木耐協技術顧問に就任し、研修会講師を担当。以前、執行役員を務めていた会社で工務店経営コンサルや商品開発支援、仮設住宅建設に尽力。

#### 今月のテーマ

### 地盤割増し係数の 判断基準について

毎年1月の箱根駅伝に魅せられ、自分でも走ってみたいくなり仲間と「大手町から芦ノ湖まで」の自作駅伝を走ってきました。必死に襷をつなぐ姿は、職人が技術と想いをつないで家をつくる姿と重なります。

さて、正月は家族が集まり、住まいの話題が増える季節です。「そろそろ家を建てないの?」「今年こそリフォームを」年始は相談機会も契約率も高まります。新年の流れにあわせて、リフォーム相談会、現場見学会、感謝祭など消費者向けイベントを組んでみませんか。

1月は住まいづくりのスタートライン。お客様の「最初の一步」を後押しする場づくりを始めましょう。

#### テーマ 非常に悪い地盤の判断方法

**質問** 液状化の可能性の高い地盤は、「非常に悪い地盤」と判断し、必要耐力の割増し係数を「1.5」とすべきか?

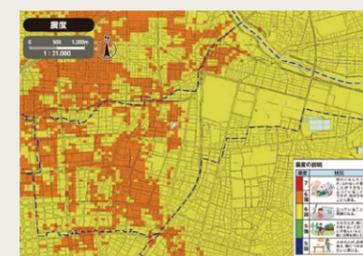
**回答** 割増しすべき。液状化の可能性が極めて高い地盤は、割増しが必要な「地盤が非常に悪い敷地」と判断する。自治体で公表されている地震の発生確率と、液状化の可能性に関するハザードマップから判断を行う。今回は名古屋市を例に挙げる。

#### 名古屋市の例

#### ▶ 申込者の住所から、想定震度と液状化可能性を確認し、地盤を判断

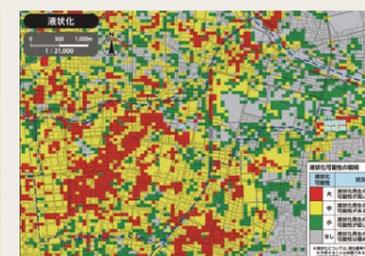
地震ハザードマップ | 名古屋市公式サイト <https://www.city.nagoya.jp/bousaiportal/hazardmap/1035126/index.html>

#### 地震ハザードマップ



震度	7	6強	6弱	5強	5弱
震度	7	6強	6弱	5強	5弱

#### 液状化リスク



液状化可能性	液状化可能性の説明			
	大	中	小	なし
状況	液状化発生の可能性が高い。	液状化発生の可能性がある。	液状化発生の可能性が低い。	液状化発生の可能性は極めて低い。

#### 判断

- ◆ 想定震度「5強以下」かつ液状化可能性「なし」の地域 → **良い・普通地盤**
- ◆ 想定震度「6強以上」かつ液状化可能性「大」の地域 → **非常に悪い地盤 (軟弱地盤割増1.5)**
- ◆ その他の地域 → **悪い地盤**

想定最大震度	液状化可能性			
	なし	小	中	大
5強以下	良い・普通			
6弱		悪い		
6強以上				非常に悪い

技術的なご相談はこちらへ!

Mail [mts@mokutaikyo.com](mailto:mts@mokutaikyo.com)

Tel 03-6261-2040 (木耐協事務局)

**給与制度は機能していますか？**  
**給与制度は目標を達成させる仕組みでもある**

社員の貢献度を計り給与を算出する評価制度は、業績の安定や事業継続にかかわる大事です。制度はあるが何年も見直していない、最後は社長の裁量で決めている、等あるかもしれません。社員の納得が得られていなければ良いですが、離職者が多い・採用が出来ないなら要検討です。シンプルな評価制度の考え方をお伝えします。

**給与制度は目標を達成させる仕組みでもある**

適切な評価をするためには目標設定からです。業績や行動な

ど、まず会社は社員の何を評価項目にするか明確にします。業績目標は会社の意向もありますが、まずは社員から目標値を出させ、会社の要望と乖離がある場合は上司と話し合い、高すぎず低すぎないところを一緒に決めます。これは3往復くらい必要です。

行動目標は業績には表れない貢献で、同様に話し合っ決めていきます。行動目標は営業社員の業績が悪い時の救済の意味もあり、回数や期間を設定し計測できる目標が良いです。評価比率は営業系社員は業績6〜7/行動4〜3、間接系は逆で良いでしょう。上司部下で話し合うのは、上に言われた目標にせず、自分

で決めたという意思を持って欲しいからです。一番残念なのは目指していない目標を掲げて仕事をすることであり、会社や上司に言われたという目標ではそうなりがちです。

次に目標の進捗を常時自分で確認できる状況を作り、最低でも月に一度は上司との面談を30分以内で行います。問題解決を共にし、上司の責任で部下の目標を達成させます。そして、目標を達成した時の評価に連動する給与を、目標設定時に社員と共有出来ていれば納得感が得られます。結果を評価するだけでなく達成させる仕組みも必要です。

プロフィール



石原直之

1989年に新卒でホームイング(現ミサワリフォーム)に入社。1992年ホームテック(東京都、売上65億)創立に参加。取締役として営業、マーケティング、新規事業部門長を歴任。2020年より中小リフォーム会社の経営者の業務をサポートする業務支援株式会社を設立し現在にいたる。日本住宅リフォーム産業協会(ジェルコ)理事、事業開発統括委員長も務める。

業務支援株式会社 E-mail ishihara@g40.biz

## 第11回 社員が納得する 評価制度とは

# 業績目標と行動目標を上司と部下で決め、 達成時の評価を連動させる

News

今月の事件簿★木村協24時

## リフォームから数年後、思わぬところから漏水



写真はイメージです

数年前にリフォームを担当したマンションで、「階下に水漏れしている」との連絡が入った。現場を確認すると、確かに階下の天井に水染みが広がっており、よくある漏水トラブルに見えた。応急処置はすぐに終えたが、被

害者からの請求書を見て目を疑った。検査費用だけで百万円近い金額。そこから、被害住戸2邸分として合計2千万円以上の請求額となっており、事態は一気に緊迫する。



写真はイメージです

確認すると初期対応の段階で担当者が「保険で全部出ますよ」というニュアンスで説明していたことが判明。ご存知の通り、原因も責任範囲も固まっていな

い段階での「言い切り」は厳禁。相手側に「それなら全て請求して、全て弁償されるだろう」という期待を抱かせ、交渉の難易度が一気に上がってしまうのだ。保険会社による鑑定結果によると、工事に起因した妥当な被害金額は、請求額の半分以下に収まる見込みとなった。とはい

え、一度膨らんだ期待をしぼませるのは容易ではない。そこからは、最初の説明の誤りについてお詫びをきちんと伝えたいうえで、被害住戸ごとに補償額を整理し、粘り強く協議しひとつずつ着地させていく長期戦に。担当者の胃腸が減ったのは言うまでもない。

今月の教訓

▼初期対応のひと言が、後々大きな火種に。期待を高める発言には要注意。

## News & Topics

### 2026年1月から「下請法」は「取適法」へ ～公正取引員会が特設サイト公開～

公正取引員会は、旧「下請法」を引き継ぐ新制度「中小受託取引適正化法(取適法)」の特設サイトを公開しました。受注者に負担を押し付けるような商慣習を一掃し、取引の適正化を進めるための改正で2026年1月1日から施行開始されます。用語も変更され、「親事業者」は「委託事業者」に、「下請事業者」は「中小受託事業者」に、「下請代金」は「製造委託等代金」にそれぞれ改められます。ぜひ、サイトを確認してみましょう。

「取適法」・「振興法」特設サイト

[https://www.jftc.go.jp/toritoki\\_2025/](https://www.jftc.go.jp/toritoki_2025/)



# 木耐協 イベント 広場

## 組合員交流会

(福岡:エイムアテイン博多駅前貸会議室)

2025年11月7日(金)

木耐協交流会に参加し、日頃なかなか聞けない他社の取り組みや現場での工夫を共有できて大変勉強になりました。今後の業務にも活かしていきたいと思っています。



アサヒ工業(福岡)  
田島弥花様

今年も行政の方向性や業界の最新情報が聞けて、とても勉強になりました。DXについては気付かされることが多く、今後に向けて考えて行こうと思います。



株式会社 柿原工務店(福岡)  
柿原豊人様

HS共同仕入はオンライン中心でお客様と直接会う機会が少ない中、「実際に聞いてよくわかった」とのお言葉を頂き本当に嬉しかったです。思い切って参加して良かったです。



住宅ソリューションズ 株式会社(東京)  
秋本 徹様



## 現地調査実践研修会

(埼玉:木耐協埼玉研修所)

2025年11月13日(木)



耐震診断の流れが分かったのが良かったです。実技の調査時間が短く、一物件の調査を一通り完成させる程度の時間をかけて行えると、実際の物件で行いやすいと思いました。



株式会社 エムズワークス(広島)  
道下克巳様

研修内容を今後、業務に生かせればと感じております。当日は講師や参加者の体験談など貴重なお話にふれることができ、限られた時間でしたが、とてもありがたかったです。



株式会社 高月工務店(山口)  
水本 健太郎様

実物の建物で具体的な調査の進め方、図面の書き方を学びました。また耐震の現状把握など知識を深めることができました。さらに勉強して早く業務で実践したいと思っています。



WhiteBox 株式会社(秋田)  
石塚真央様

イベントスケジュール	開催日	時間	イベント名	会場	エリア
2026年1月	8(木)	13:30~17:00	全国大会 第28回大会	アキバプラザ アキバホール	東京
		17:20~19:00	全国大会 賀詞交歓会	アキバプラザ レセプションホール	東京
2月	26(木)	14:00~17:00	理事会	未定	東京
3月	5(木)	13:00~17:00	現地調査実践研修会	木耐協埼玉研修所	埼玉
	26(木)	15:00~	第28期 通常総会	未定	東京
	27(金)	14:00~17:00	技術向上委員会	木耐協半蔵門事務所	東京
4月	月上旬	15:00~16:00	倫理向上委員会	木耐協半蔵門事務所	東京
	16(木)	13:00~17:00	現地調査実践研修会	木耐協埼玉研修所	埼玉
5月	14(木)	13:00~17:00	現地調査実践研修会	木耐協埼玉研修所	埼玉

※諸般の事情によりイベントが中止・変更になる場合がございますので予めご了承ください。  
※各イベントの概要や詳細についてはお気軽に木耐協事務局へお問い合わせください

### Book Review

#### 「福音派」の影響力と今後

今号の理事長オスズメはこの一冊！

Mr.トランプが2度目のアメリカ大統領に就任してほぼ1年経ちました。アメリカのみならず世界の混乱が続いています。そのトランプを支持する一定の勢力であり、アメリカの人口の25%を占めるとされる宗教集団「福音派」とは、一体どのような思想を持ったグループなのか。

アメリカ国内における「分断」の元凶が分からないと、今アメリカで起きている事や、これから起きる事の想像も出来ないと考え、読んでみました。著者は日本人で、西洋の宗教思想及びキリスト教史を専門とする大学教授。と言っても40代半ばのバリバリの研究者で、本の中身の広さと深さに圧倒されました。さて内容は、「福音派」が政治勢力として台頭して来た70年代後半から現在に至るまで、約50年間のアメリカ国内での「福音派」の政治的影響をこと細かに叙述します。カーター大統領(1977年就任)に始まり、

レーガン、ブッシュ(父)……中略……バイデン、そして2度目のトランプ大統領へと、各政権に「福音派」が果たした役割。特に未だに問題の多い、人種や中絶・同性婚、イスラエルとの関係等に「福音派」はどの様な考え方で如何に関与して来たのか。



正直に言って、とても長く難しい本でしたが、彼らの思想の全体像は掴めました。いつもは面白いから是非！とお勧め本を紹介していますが、今回は年初でもあり、新しい挑戦の年！と位置付けるためにも、緊張感のある本を紹介しました。  
私は毎月10冊以上読みますが、たまにはこういう本を読まないといけない気がしています。勿論、本以外にも情報収集の方法は数多ありますが、ネットで氾濫する周知の情報は自分にとって意味が無いものとして切り捨て、大切な時間を無駄に取られない様、戒めたいものです。

#### 「福音派」の影響力と今後



162  
冊目

福音派  
一終末論に  
引き裂かれる  
アメリカ社会

著者/加藤喜之  
発行/中公新書  
価格/1,200円(税別)



## 事務局通信

### 編集後記

元旦にだけ放送されるNHKテレビ体操の豪華版を見たことはありませんか。体操の先生やアシスタント、ピアノの演奏者が勢ぞろいで干支体操などを披露する回です。コロナ禍前からテレビ体操を見ながら体操していましたが、最近ではさぼっていました。2026年は、朝の準備をダンドリよくこなし、習慣にしたいと思います。皆さまは2026年に習慣にしたいことはありますか?(渥美)

### 2026年の日程 耐震技術認定者講習会と現地調査実践研修会

以下の通りの日程で開催いたします。適宜、サイトよりお申し込みを開始しますのでご確認のほどよろしくお願いいたします。

#### 耐震技術認定者講習会 eラーニング版の受講期間

- 第1期:2月5日(木)~3月12日(木)
- 第2期:5月8日(金)~6月11日(木)
- 第3期:8月6日(木)~9月10日(木)
- 第4期:11月5日(木)~12月10日(木)



<https://www.mokutaikyo.com/koshukai/>

#### 現地調査実践研修会(3月~5月)

- 日程:3月5日(木)
- 4月16日(木)
- 5月14日(木)



会場:木耐協埼玉研修所

<https://www.mokutaikyo.com/about/workshop/>

### 2026年組合員証を送付しています

2026年度の賦課金をご入金いただいた組合員様へ、「2026年度組合員証」をお送りしています。ぜひ貴社事務所でご掲示ください。また、ホームページの公開情報確認の用紙を同封していますので変更がある場合はご返信をお願いします。本年もよろしくお願いいたします。



発行 ● 国土交通大臣認可法人 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合

発行人 ● 小野秀男 編集 ● 関 励介、伊藤健三、渥美寿子

所 在 ● 東京都千代田区麹町2-2-31 麹町サンライズビル4階 tel 03-6261-2040 fax 03-6261-2041

# 組合員さん

## こんにちは！

事務局員がおじゃまします

▶床下で基礎コンクリート強度を測定



▲音響熟成木材の洗面台造作など



▲耐震診断道具

▼漆喰壁と音響熟成木材



▶代表取締役 迫郁男様

## 株式会社 安住美家本舗様

鹿児島県鹿児島市

### 「空気がうまい住空間」

鹿児島市で自然素材住宅を手がける迫社長に事業の取り組みや考え方について伺いました。独立当初は主に福祉住環境リフォームを手掛けられ、「終の住処」として住まいの健康性がいかに大切かを実感し、漆喰や音響熟成木材など厳選された自然素材の導入を進めてきたそうです。

ホームページに掲げている「空気がうまい住空間」というコンセプトは、お客様だけでなく、迫社長や職人さんが「現場で実感した空気の違い」から生まれたものです。

### 中古+リノベ需要にも 応えるワンストップ体制

県の耐震講習だけでは実務に自信が持てなかったため木耐協に加盟し、組合の研修・講習や自宅の診断を通じて、診断技術を習得。診断を積み重ねる中で疑問は木耐協に相談し、技術を実務レベルまで高めていきました。こうした技術の蓄積が、中古住宅を購入してリノベーションしたい若い世代への対応力にもつながっています。

中古住宅購入を検討している若いご夫婦から耐震診断の依頼では、既にリフォーム業者まで決まっている状態でしたが、耐震診断を通じて信頼につながり内装も外装も全解体というフルリノベーションに発展したそうです。合理性だけでなく、お客様ごとの「住まい観」

を大切に、一緒に最適解を築く姿が印象的です。

### 夫婦二人三脚で行う 丁寧な耐震診断

迫社長の耐震診断は、ご夫婦による「二人三脚」スタイルが特長です。初回の訪問では丁寧なヒアリングを行い、診断当日は社長自ら調査を担当、奥様が会話で現場を和ませる役割。図面確認や床下調査まで細やかに取り組み、小さな疑問も見逃さず随時解決する姿勢が、お客様の安心につながっています。わかりやすい説明や補強提案で、お客様の安心感も高まっているようです。

自然素材への深い理解と実践を積んだ確かな技術、一括サポート可能な体制が「中古+リノベ」市場での強みです。ご夫婦の連携による診断スタイルも印象的でした。

事務局：伊藤



木耐協ワンストップ  
2026年1月vol.325

発行：国土交通大臣認可法人日本木造住宅耐震補強事業者協同組合  
発行人：小野秀男 編集：関原介、伊藤健三、瀧美寿子

東京都千代田区錦町2-2-31 麹町サンライズビル4階  
Tel: 03-6261-2040 Fax: 03-6261-2041